

登録コード	F9000890	開講年度	2026			
授業科目	中等基礎教育実習				担当教員	河村 隆 他
英文授業名	Practice Teaching in Junior High School				副担当	藤井 善章・小山 茂喜
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目
					備考	
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】	
		2 2 Fカリ				
		【2020年度以降加付対象】繊維科学を基盤とし、現実の課題を解決するために、学際・業際領域を切り拓く創造的能力が身に付いている			・教職課程での学びを生かし、実践的な教育活動を体験することを通して、自らのカリキュラム・マネジメントの資質能力を開発すると同時に、コミュニケーション能力を高める。	
(2)授業で学べる「テーマ」		地域運営				
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要		実習校でこれまでに学んだ内容を踏まえて、教科学習を中心に実践的に教育活動を展開する。				
(5)授業計画		実施時期： 5 月～ 9 月（ 6 月上・中旬頃に行うことを原則）実習校と協議して決定します。 全授業時間...120時間以上（実習期間3～4週間） ・授業参観 ・授業担当（研究授業を含む） ・放課後の研究指導 ・学級経営の参加				
(6)成績評価の方法		教育実習受入校での評価と、実習録等のデータから総合的に判断する。				
(7)成績評価の基準		教育実習の「実習録」，「評価書」，「出勤簿」に基づいて評価します． 授業の達成目標の水準にあるか否かの基準は次の通りです． 卓越している（秀，90～100点）：上記3点全ての内容が優れていて，教員を感心させるレベルにある かなり上にある（優，80～89点） やや上にある（良，70～79点） 水準にある（可，60～69点） 水準よりやや下にある（不可，50～59点） 水準にない（不可，49点以下）				
(8)事前事後学習の内容		教育実習受入校の担当教員の指示に従ってください． 関連の授業として「教育実習事前・事後指導」が設定されており，こちらも必ず受講してください．				
(9)履修上の注意		必要があれば指示します．				
(10)質問、相談への対応		質問・相談は，随時，下記で受け付けます． 藤井善章 fujiiy@shinshu-u.ac.jp 小山茂喜 shigeki@shinshu-u.ac.jp 教職支援センター（松本キャンパス），内線811-7297，0263-37-3367				
(11)学生へのメッセージ						
(12)その他		「教える」学びと「教えることの難しさ」を十分に認識してください．				
【教科書】		「教育実習安心ハンドブック」小山茂喜編著、学事出版、2018年、ISBN978-4-7619-2476-8、1800円				
【参考書】		なし				